

(別紙2－4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人苗場福祉会	代表者	湖山 聖道	法人・事業所の 特徴	法人:新潟県を拠点とし千葉・埼玉県において、お客様のニーズに応えられるよう様々な介護サービス事業を展開しています。 事業所:開設3年目を迎え地域の社会資源の一つとなれるように地域交流に力を入れ取り組んでいます。市の委託を受け、毎月1回介護相談窓口を設けた認知症カフェを開催しています。
事業所名	健康倶楽部むさし野の森	管理者	宮寺 裕子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	1 人	人	人	1 人	人	3 人	人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・職員個々の評価がしっかりとできている。 ・ミーティング様式から2/3以上の職員が参加し事業所評価に取り組んでいることが確認できた。	・ご利用者が地域とのつながりが持てるように各項目の改善計画を遂行していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			・門扉設置もなく地域の方々が施設に入りやすい工夫はされている。事業所玄関にも施錠はされていない。 ・入りやすい工夫としてレゴスペースは設置されているが施設構造上、正面玄関が奥にあることから、さらにもうひと工夫あるといいと思います。	・事業所の行事やイベントを認知症カフェの広報活動と併せて事前にお知らせし地域の方々に参加していただけるように取り組んでいく。
C. 事業所と地域のかかわり			・地域行事やイベントに事業所として積極的に参加しているが参加職員に偏りがある。 ・介護相談窓口を設けた認知症カフェの活動を通して地域の方への周知につなげられていると思う。	・事業所全体で地域との関わりが持てるように担当職員を輩出し地域活動に携わっていく。 ・認知症カフェを通し事業所周知に向けての広報活動を行う。また、近隣の地域密着型施設との交流の場となるように呼びかけていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・企画や外出行事のほか、近隣の施設から誘いを受け、ご利用者が地域と関わる機会は設けられている。 ・運営推進会議の活性化に向けての取り組みは継続してほしい。現メンバーも協力していく。 ・独居のご利用者様の住む地域の民生委員を交えたサービス担当者会議が開催されている。	・外出行事はご利用者様を交え企画立案し地域に出向いていく。また、ご家族と連携を図りながら、地域資源を活用しご利用者様の希望に沿った外出ができるように携わっていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	【H28年度外部評価機関による評価結果から】 運営推進会議活性化のため構成メンバーを増員していく。隣接する小中学校の先生方や自治会長、地域住民の方々に参加していただけるように働きかけていく。また、イベントや行事に合わせ会議を開催しご家族の参加を呼びかけていく。	・改善に向けて自治会やご家族に協力依頼をしているが、就労の都合から会議出席はお断りされている。取り組みは確認できたが目標達成には至っていない。	・運営推進会議において利用状況や活動報告、事故報告や事業所の取り組みについて確認できている。 ・事業所利用のない地域の方について事例検討するのは個人情報保護の視点から問題があると思う。	・運営推進会議の活性化については介護保険課、地域包括支援センターの協力をいただきながら構成メンバー増員に向けての取り組みを継続していく。
F. 事業所の防災・災害対策			・防災計画は事業所内に掲示してあるが、運営推進会議メンバーへの周知はできていない。また、メンバーは防災訓練に参加できていない。 ・地域住民を巻き込んだ事業所防災訓練は実施できていない。	・事業所防災計画は年度初めに具体的内容も含め運営推進会議で説明していく。防災訓練の予定をう会議日に併せメンバーの方々に参加していただく。 ・地域の防災訓練は地区役員と連携を図り継続して参加していく。また、職員だけでなくご利用者様と参加していく。